

Title	研究不正の与信管理によるリスクマネジメント
Author(s)	竹澤, 慎一郎
Citation	年次学術大会講演要旨集, 29: 55
Issue Date	2014-10-18
Type	Conference Paper
Text version	publisher
URL	http://hdl.handle.net/10119/12394
Rights	本著作物は研究・技術計画学会の許可のもとに掲載するものです。This material is posted here with permission of the Japan Society for Science Policy and Research Management.
Description	一般講演要旨

研究不正の与信管理によるリスクマネジメント

○竹澤 慎一郎（ゼネラルヘルスケア株式会社）

学術誌における研究不正は、学術機関の人事や研究費獲得などにも影響力がある。研究不正により成果を水増しした研究者に学術ポストや研究費を奪われている現状がある。また、一部の企業においても商品の薬事承認や認知度の向上などを研究不正により実現し、消費者を騙している企業がある。我々はこのような研究不正の実情を生命科学分野の電気泳動実験に着目して、2000 年以降の Nature 誌に掲載のある日本人が著者の論文を検証した。その結果、6%の論文に画像改竄の疑義を見出した。この結果より、研究不正のデータベースを構築し、研究者の与信管理を行うことにより、学術機関や企業の人事に活用することで、研究不正対策を補助できるのではないかと提議したい。